



百年受け継がれてきた北九州のDNA

地域と支え合い、さらさら技術を磨いて、次代へ！

鉄事業から鉄関連事業へ

製鉄業は、苦難の歴史です。戦中・戦後、高度成長期と時代が大きく変わっていき中で、激動の変化を遂げてきました。平炉から転炉へ、造塊法から連続法へ、そして溶鉱炉の大型化などが続く中、「鉄冷え」と呼ばれた昭和50年代に突入します。

そんな中で、製鉄業の苦境を乗り越えて鉄事業を発展させてきたのが、株

式会社アステック入江です。転炉から出てくる廃棄物であるピュアな鉄粉を何かに使えないかと研究を始めたことが発端となったファイナメタル事業。1986頃から他社に先駆けて始めたファイナセラミックス精密加工などに取り組み、関連企業からも高い評価を得てきました。

近年では、鋼管加工技術を活かした住宅用部材を開発。住宅基礎補強工法を住宅メーカーと共同開発し、軟弱な地盤であつても安心して住宅を建て

られる基礎の部分に取り組んでいきます。これは、各地で地震が懸念される中、これからの住宅産業に大きく貢献できると考えています。

さらさら新たなフィールドを求めて

一方では、1910年創業以来、1世紀以上にあつた製鉄事業に取り組んできたノウハウを、新たなフィールドで次々に活かしているのもアステック入江の魅力と言えます。

その一つが、環境リサイクル事業です。中でも、都市鉱山つまりはパソコンやサーバーに組み込まれている廃電子基板から、貴金属やベースメタルを回収して再資源化する非鉄金属リサイクルは注目の事業。都市鉱山から回収した金で東京五輪でのリサイクル金メダル供給を目指し、循環型社会構築への貢献に努めています。

北九州と言わず国の発展を担ってきた製鉄産業と、それを支えてきた地域。北九州の産業は、古くからそうやってお互いに協力しあい、支え合ってきました。技術力の向上・開発においても、地元大学や研究機関との連携が必要不可欠でした。

これまでも、これからも「感謝と信頼」この言葉を胸に「人と地球にやさしい会社」を目指しています。

代表からひとこと

Masayuki Takahashi 代表取締役社長 / 高橋 正幸



私はこの会社に勤めて、先輩・お客様から教えて頂きました。

「誠実・忠直」「正直・正義」「義理・人情」「信頼・感謝」「智慧・工夫」「仲間」「家族」「絆」「御縁」「職業的英雄心」そして「三現主義」。

この会社のDNAが受継がれていく風土を守り、育てていく事が私の使命と思っています。

製品情報



ファイナセラミックス 精密加工

株式会社アステック入江

社 歴 1910年 創業。/1957年 株式会社入江組と改称、八幡製鉄所の製鋼利材作業を開始。/1960年 入江興産株式会社に改称。
1992年 株式会社アステック入江と改称。

所 在 地 …… 〒805-8507 福岡県北九州市八幡東区西本町3丁目1-1
代 表 者 …… 代表取締役社長 高橋 正幸
従 業 員 数 …… 751人
事 業 内 容 …… 金属加工業
設 立 年 …… 1910年

携帯電話・スマートフォンでご覧いただけます！

企業紹介ムービーはこちら



企業サイトはこちら

